和教時報

2020年８月15日（土）発行　第1964号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

障害児学校でも 一斉登校始まる

障害児学校では七月に入ってから徐々に一斉登校が行われていますが、全てではありません。盲・ろう学校と、みはま支援学校は六月中に一斉登校を行っています。この三校の共通点は過密ではない小規模学校であるということです。

「三密を避ける」という指針に沿いながら、学部ごとやクラスの半分の分散登校を経て、何よりスクールバスの密状態を緩和するための増車により、多くの学校で一斉登校が始まりました。基礎疾患がある子どもたちが多く、体調管理、消毒作業、実践場所の調整、基礎疾患がある子どもとそうでない子どもの動線を分けるなど、たくさんの議論がなされました。

六月中旬、地域の小中高の一斉登校が行われました。密なんてお構いなしです。県教委はそれまでの方針とは相いれないことには触れず、校長もそれに沿い、一斉登校にかじを切ります。バスの増車台数は完全に密を解消するに至らず、「三密を避ける」はフレーズ化し、コロナ対策と一斉登校という矛盾に現場は混乱しています。分散登校で戸惑う自閉症の子どもたちは自傷が激しくなり、基礎疾患がある

重度の肢体不自由の子どもたちは、密の状況に学校に来ることを見合わせ、子どもたちにとっての学校とは？が問われていると思います。

これまで私たちが訴えてきた障害児学校の過大過密や、感染症に対応しきれない知肢併置校の教育条件不備は、今回より明確になりました。これらの課題解消に向けた運動を一層強めることが求められています。

ピンのスポット 386

エアコン、ビーチサンダル、夏には欠かせないものだが、どちらも海外で通用しない和製英語だ。他にも元の意味と異なる意味で使っている単語もあり、「スマート」は本来は「賢い」だし、「クレーム」は「苦情」ではなく「要求する」だ。英語を補完的に用いて、日本語では伝えにくい雰囲気を表現している。

「メリット」も「得」とか「利益」とかいった意味で使うが、本来は「価値」「長所」「取りえ」だ。商品の魅力を訴えるときに、便利な言葉として広がったのではないだろうか。

組合加入について、「メリットは何か」と問われることがある。誰かだけが得することはないけど、教職員みんなに、さらには社会全体にとっての価値を組合はもっている。（K）

めざせ20人学級プロジェクト

国会議員要請行動

一番最初に国民民主党の岸本周平衆議院議員事務所へ行き、コロナ禍での学校再開後の分散登校時と全面開校後の子どもの様子の違いや消毒作業などで多忙さが深刻になっている教職員の様子などを話し二〇人学級の早期実現を求めました。岸本議員は、「三五人以下学級を始めたのは、民主党政権の時、少人数学級は、野党の統一要求になると思う」と力強くおっしゃいました。与党議員も二〇人学級については前向きにとらえていただきました。

少人数学級の声は、学校現場だけでなく、全国知事会・市長会・町村長会から提言が出され、県内でも橋本市議会の六月議会にて全会一致で意見書が採択されています。

和教組では、和歌山県に対して「少人数学級で豊かな学校生活を」という署名に取り組みます。署名を大きく広げ二〇人学級を実現しましょう。

和教組本部では、和高教とともに全教の要請に応じて二〇人学級の実現に向け、全教が出した【緊急アピール】「子どもたちの成長・発達を保障し、いのちと健康を守るため、「二〇人学級」を展望した少人数学級を実現しよう」県選出国会議員七名に対し要請行動を行いました。

地元事務所へ連絡を取ったところ三名（岸本周平議員・門博文議員・浮島智子議員）の議員本人が会って私たちの話を聞いてくれました。

カジノ反対一斉宣伝

和歌山市支部　書記長　平田　秀一

七月一二日（日）の一〇時～一一時まで、元伏虎中前にて「カジノはあかん」ポスターを持ってスタンディングを行いました。通りかかる車の運転手が、こちらのポスターを見ている様子がわかります。

今年の二月の代表委員会で、カジノを含むIRに反対をする思いを語ってくれた組合員さんがいました。東京から移住してきたお母さんの話や海外のカジノを作った街では、こんな街では子育てできないといって、人口が減少した地域もあると聞いて、麻薬などの犯罪から、子ども達の生活や環境を守るためには、断固としてカジノ・IRに反対しなければいけないという思いをもったというお話でした。

知事も市長も賛成している自治体がなかなかない中で、和歌山が非常に有力な候補になってきていることを危惧しています。しかし、コロナ禍の中で、閉鎖された空間でギャンブルを行うカジノは営業停止になり、収益が大きく悪化しているというニュースもよく聞きます。カジノ誘致をやめるのは今です。子どもたちがのびのびすごせる和歌山を守るために反対運動に取り組んでいきたいと思います。

今年の全国教研は レポート集で 学習しよう！

毎年八月に開催されている全国教研は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。和教組から、六人の方がレポーターとして、また司会の方も新規に引き受けて下さっていたので、大変残念です。今年度はレポート集が作成されますので、ご覧になりたい方は本部までお問い合わせ下さい。

県教研講師は 前川喜平氏

『未来をひらく教育のつどい』は一一月二七日・二八日に伊都地方で開催されます。

二七日・全体会の講師は元文部科学省事務次官の前川喜平氏です。前川氏は文科省を辞任後、『現代教育行政研究会』の代表をされており、各方面で講演や執筆に引っ張りだこです。

「公正・公平であるべき行政が歪められた」として、安倍政権下で起きた加計学園問題をはじめ「権力私物化」の構造を糾弾した姿は記憶に新しいのではないでしょうか。「『安倍教育再生』のねらい」と題し、たっぷりお話を聞かせてくれます。コロナ感染症の拡大状況に応じ、オンライン配信も検討しています。

二八日・分科会は開催について慎重に考えています。今後の案内をご注視下さい。

ご存じですか？ 特別支援学校には学校設置基準がありません！

学校教育法第一章第三条では「学校を設置しようとする者は、学校の種類に応じ、文部科学大臣の定める設備、編制その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない」と定めています。しかし、特別支援学校（以下特支）にはその設置基準がありません。学校教育法で規定された「学校」の中で、設置基準がないのは特支だけです。十年間で約二万七千人以上の児童生徒が増えているにもかかわらず、学校数がわずかしか増えていないため、各学校では人権侵害ともいえる劣悪な教育環境を強いられ、学校規模の二倍、三倍の子どもたちがつめこまれています。

文部科学省に置かれた「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」は六月、「これまでの議論の整理（案）」を示しました。その中で、「特支における教育環境の整備」について、「在籍者数の増加により慢性的な教室不足が続いており」、「特支の教育環境を改善するため、国は特支に備えるべき施設等を定めた設置基準を策定することが求められる」としています。

この事を受け、文科省は来春にも設置基準を定める方針を固めたとの新聞報道がありましたが、「障害の種類によって必要な設備が異なり、統一的に示すのは困難」とも言われています。国としての基準ではなく、都道府県の判断に任せるとのことから、これからも子どもたち本位の設置基準策定を求めて運動をすすめていかなければなりません。

私の
human library

2 支え合う集団が強い力を発揮!!

那賀支部　鞆渕小中分会　**河原　径子**

私の原点はきのかわ養護学校（支援学校）です。校舎は建築途上で、近くの集会所が学校でした。高等部の生徒二五名と六名の教員が、一教室で生活しました。また、私を含め三人が新採という構成でした。二三歳の私は何もかもが新しく、生徒の言動に振り回され、一喜一憂していました。

主任は伊都で組合でも忙しくされている方でした。保護者との対応や、生徒のてんかん発作の対応など、私たちのとまどう場面ではさりげなくカバーしてくれました。抜かった点を責め合う集団ではなく、互いに支え合う集団が一番強い力を発揮するんだと学ばせてもらいました。その教師集団の仲の良さが生徒たちにも伝わっていき、穏やかな空気が育まれたと感じます。

また、解決しなければならない課題、困りごとが生じたときも、集団で考え、合意していく道筋を教えていただきました。会議は教職員集団の学び合いの場となりました。それぞれの持ち味を生かした意見は、子どもの見方、課題のとらえ方を学べました。

「子どもたちの言動には理由がある。それをまず知ろう」「子どもたちが考え、行動を起こすのを待とう」「子どもや保護者と信頼関係を築くには」

うまくいかないことが多いですが、このときの経験を軸にできたから、今まで教師を続けられてきたのだろうなと改めて実感しています。

日教弘教育賞

子どもたちの未来のため、教職員の貴重な教育研究実践論文を表彰するとともに、広く全国の学校に紹介します。教育の向上発展に寄与する目的で日教弘教育賞実践論文の募集を実施しています。

◆９月末日　日本教育公務員弘済会和歌山支部　必着

◆支部推薦・審査および表彰

日教弘和歌山支部選考委員会において選定した３編の論文を、日教弘本部へ推薦し、本部で行われる審査委員会において審査します。

最優秀賞（２編）、優秀賞（６編）、優良賞（８編）、奨励賞が決定されます。

なお、本部推薦以外の論文についても和歌山支部より、支部優秀賞を選考します。

※募集要項、論文の書き方は『日本教育公務員弘済会』のホームページをご覧ください。

http://www.nikkyoko.or.jp/

公益財団法人　日本教育公務員弘済会和歌山支部　TEL073-421-7881